

# 実施要領別紙一覧

別紙 1 : 登録申請書類

様式 1 : 新技術情報提供システム (NETIS) 申請書

様式 2 : 技術情報入力事項

別紙 2 - 1 : 公共工事等における新技術活用 スキームNETIS 掲載情報の変更・更新申請書

別紙 2 - 2 : 公共工事等における新技術活用 スキームNETIS 登録抹消願

別紙 3 : 試行調査の調査内容

別紙 4 - 1 : 活用効果調査表 (発注者用)

別紙 4 - 2 : 活用効果調査表 (施工者用)

別紙 5 - 1 : 公共工事などにおける新技術活用スキーム試行申請書

別紙 5 - 2 : 公共工事などにおける新技術活用スキーム試行希望調書

別紙 6 : 新技術活用計画書・実施報告書

別紙 7 : 具体的評価方法

別紙 8 : 事前審査結果・事後評価結果の公表への異議申立書

別紙 9 : 事後評価結果に関する不服申請書

別紙 10 : 公共工事等における新技術活用スキーム推奨技術等の取り扱いに関する同意書

別紙 11 : 公共工事等における新技術活用スキーム技術比較表の変更・更新・追加・削除申請書

## 新技術情報提供システム (NETIS) 登録申請書

令和 年 月 日

受付地整等

国土交通省

地方整備局長（北海道開発局長）

殿

ふりがな

会社名

法人印

ふりがな

代表者氏名

公印

所在地

電話

「公共工事等における新技術活用スキーム」の実施規約に同意の上、下記のとおり申請します。  
なお、本申請技術は、NETIS 登録技術とは同一技術でないことを誓約します。

## 記

1. 技術名称ふりがな ※1 :  
    ふりがな ※1  
    (商標名) :

2. 担当窓口：氏ふりがな名

会社名

所属

所在地

電話

FAX

E-mail

※1：技術名称は、その技術の内容及び特色が容易に理解できるものとしてください。  
商標がある場合に記入してください。

# 新技術情報入力システム入力画面(イメージ)

(名称・分類)

1. 「技術名称」 「詳細」 「技術開発年」 「記入年月日」 「情報の提供範囲」 2. 「分類・区分」 3. 「キーワード」 「関係機関」 4. 「関係体制」 「関係会社」 「問合せ先」 5. 「概要」 「概要写真」 6. 「概要写真」 「概要表」 7. 「新技術及び提供される効果」 8. 「効果写真」 「効果表」 9. 「技術概要 (アブストラクト)」 10. 「関係条件」

11. 「適用範囲」 11-1. 「適用される業種」 12. 「得意業種」 13. 「従来技術との比較 (経済性・工期)」 14. 「従来技術との比較 (品質・安全性・施工性・周辺環境への影響)」 15. 「その他、技術のアピールポイント等」 「新技術のコストタイプ」 16. 「施工年度」 17. 「費用内訳表」 「歩掛」 18. 「施工方法」

19. 「今後の課題とその対応計画」 20. 「施工実績」 21. 「特許・実用新案」 22. 「第三者評価・表彰等」 23. 「実証事業実施状況」 24. 「期待材料」 25. 「参考文献」 26. 「その他 (写真)」 「その他ダウンロード資料 (カタログ、独自技術資料等)」 27. 「比較表」 28. 「重設NETS」 29. 「維持管理NETS」

技術名称  コメント欄 (登録者のコメント (※)・申請者のコメント (※))

技術名称  
新技術情報提供システム (NETS) 登録申請書 (様式1) で記載した技術名称と同様として下さい。

副題

副題  
申請する技術の用途等を明確にした副題を入力して下さい。

技術開発年

技術開発年  
申請する技術を開発した西暦年を半角で入力して下さい。

記入年月日

記入年月日  
技術概要説明資料 (様式2) を作成した年月日を半角で入力して下さい。

情報の提供範囲  一般  国土交通省のみ

情報の提供範囲  
無料、「一般」選択して下さい。

コメント欄 (登録者のコメント (※)・申請者のコメント (※))

コメントを入力してください

ファイルを選択 選択されていません ご質問にお答えします!

1. 「技術名称」 「詳細」 「技術開発年」 「記入年月日」 「情報の提供範囲」 2. 「分類・区分」 3. 「キーワード」 「関係機関」 4. 「関係体制」 「関係会社」 「問合せ先」 5. 「概要」 「概要写真」 6. 「概要写真」 「概要表」 7. 「新技術及び提供される効果」 8. 「効果写真」 「効果表」 9. 「技術概要 (アブストラクト)」 10. 「関係条件」

11. 「適用範囲」 11-1. 「適用される業種」 12. 「得意業種」 13. 「従来技術との比較 (経済性・工期)」 14. 「従来技術との比較 (品質・安全性・施工性・周辺環境への影響)」 15. 「その他、技術のアピールポイント等」 「新技術のコストタイプ」 16. 「施工年度」 17. 「費用内訳表」 「歩掛」 18. 「施工方法」

19. 「今後の課題とその対応計画」 20. 「施工実績」 21. 「特許・実用新案」 22. 「第三者評価・表彰等」 23. 「実証事業実施状況」 24. 「期待材料」 25. 「参考文献」 26. 「その他 (写真)」 「その他ダウンロード資料 (カタログ、独自技術資料等)」 27. 「比較表」 28. 「重設NETS」 29. 「維持管理NETS」

分類・区分  から分類を選択してください。(新技術が主に適用される分類)を入力してください。分類一覧をダウンロード

コメント欄 (登録者のコメント (※)・申請者のコメント (※))

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

レベル1 レベル2 レベル3 レベル4

分類

プルダウンメニューより、レベル1～レベル4まで選択して下さい。(注) 分類については、申請した新技術をまとして適用される分工 (工程) を入力して下さい。  
分類が複数あるものは、分類2以降を入力して下さい。(注) 許諾する際に適用となる工程は分類1です。  
但し、従来技術との比較については分類1に該当した工程では選択すること。  
レベル1: 土工、鉄筋工、基礎工など1種から選択して下さい。  
レベル2: レベル1を細分化したもので、例えば、レベル1: 土工の場合、土工、管定形土工、鉄筋改良工、軽量盛土工、土工管等、その他  
レベル3: レベル2を細分化したもので、例えば、レベル2: 土工管等の場合、土工管等  
レベル4: レベル3を細分化したもので、例えば、レベル3: 土工管等の場合、盛戻管理、出来形管理、その他

区分

区分

プルダウンメニューより、該当する区分を選択して下さい。  
「工法」、「材料」、「製品」、「システム」から選択して下さい。なお、各区分の定義は次のとおりです。  
「工法」: 材料、機械、製品、システム等を含み合わせることであり、工事の一部、あるいは条件を決定させるに足る方法。  
「材料」: 公共工事等において、加工、添加等されることにより用を成す原料、資材。  
「製品」: 公共工事等における設備、構築物、構築物。  
「製品」: 公共工事等により制作、調達される物を構成する一部材であり、新たな加工を要しないもの  
「システム」: 材料、製品、機械等が体系的に組み合わされ、公共工事等における工法、調査方法等を支援するもので、IT等の先端技術を利用した情報システム、施工管理や維持管理に利用するマネジメント技術などを指す。  
分類および区分について、ご不明点がありましたら、申請・相談窓口にご相談下さい。

コメント欄 (登録者のコメント (※)・申請者のコメント (※))

コメントを入力してください

ファイルを選択 選択されていません ご質問にお答えします!

公共工事等における新技術活用スキーム  
NETIS 掲載情報の変更・更新申請書

令和 年 月 日

国土交通省  
\_\_\_\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長  
殿

ふりがな  
会社名

法人印

ふりがな  
代表者氏名

公印

所在地

電話

NETIS 掲載情報の変更・更新について、下記のとおり申請します。

記

1. 技術名称 :

(商標名) :

NETIS 登録番号(既登録) :

2. 変更・更新内容 :

3. 担当窓口 : 氏名

会社名

所属

所在地

電話

FAX

4. 添付資料 :

## 公共工事等における新技術活用スキーム

## NETIS 登録抹消願

令和 年 月 日

国土交通省  
 \_\_\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長  
 殿

ふ り が な  
 会 社 名

法人印

ふ り が な  
 代表者氏名

公 印

所 在 地

電 話

「公共工事等における新技術活用スキーム」における NETIS（新技術情報提供システム）に登録済みの  
 下記技術について、登録を抹消されたく申請します。

## 記

1. 技 術 名 称 :  
ふ り が な

( 商 標 名 ) :

2. NETIS 登録番号 :

3. 理 由 :

4. 問 合 せ 先 : 氏 名  
ふ り が な

住 所

会 社 名

所 属

電 話

F A X

E-mail

## 試行調査の調査内容

## 試行調査表

様式Ⅲ-13

技術の名称	
開発会社名	
NETIS登録番号	
従来技術名称	

必要に応じて評価項目を追加してください。

大	評価項目		従来技術のコスト	申請技術のコスト	従来技術との比較	試行調査結果
	中	小				
1. 経済性	イニシャルコスト					
		ランニングコスト				
	その他					
		トータルコスト				

大	評価項目		①現行基準値等	②申請技術について 実証により確認した 数値等	③従来技術との 比較	試行調査結果
	中	小				
2. 安全性	構造					
		施工段階				
3. 品質・出来形	耐久性(物性)					
	耐久性(形状)					
	耐久性(機能)					
材料						
施工						
4. 施工性	合理化					
	現場条件					
	適用範囲					
	自然条件					
施工管理						
5. 周辺環境に 与える影響	社会環境					
	作業環境					

# 活用効果調査表（発注者用）

登録番号 TH-200004 - A

新技術名称 一般車両搭載型トンネル点検システム

比較する従来技術 手書きスキャッチとデジタルカメラを利用した点検観音作成

組織機関名 東北地方整備局

部署・事業所名 佐野前

工事名 活用工事

活用等の型

新技術活用調査（説明書参照） 活用効果調査表（発注者用） 活用効果調査表（施工者用）

### 記入要領

- 全ての調査項目について調査を行って下さい。  
ただし、記入者が評価に馴染みない判断した調査項目があれば「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。  
その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
- 調査項目毎に評価点をチェックして下さい（チェックの目安は下表の通り）。  

大雑にみる	見る	同等	優れる	大幅に優れる
1	2	3	4	5
- 【ポイント】  
 活用した新技術が、従来技術に比べて「優れる」を「同等」や「劣る」を判断して下さる。どの程度優れているのか、その理由を添えて「優れる」を判断していただくことで、チェックしやすくなります。
- 調査項目の追加が必要な場合はその他（自由設定）欄に記入して下さい。
- 調査項目等に「優れていた点」「劣っていた点」をチェックして下さい（複数チェックすることも可能です）。  
チェックを入れた場合はその理由説明をコメント欄に記入して下さい。また、チェックを入らなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入して下さい。
- コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい。**  
また、当該技術を活用及び活用検討する上での留意事項等を記入して下さい。  
記入内容は、効果調査の強みや評価の観点でチェックした内容と必ず照合を回して下さい。  
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。



発注課 佐野前

記入者氏名 監督者

連絡先 (TEL)

**経済性**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
○1	○2	○3	○4	○5	

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 機械経費・製品運搬・補助材料費が減少したため
- 作業人員が減少したため
- 仮設費が減少したため
- 施工日数が短縮したため
- 施工量が想定数量より多かったため
- 維持管理費の減少が見込まれるため

**劣っていた点**

- 機械経費・製品運搬・補助材料費が増加したため
- 作業人員が増加したため
- 仮設費が増加したため
- 施工日数が延長したため
- 施工量が想定数量より少なかったため
- 維持管理費の増加が見込まれるため

**工程**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
○1	○2	○3	○4	○5	

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 施工日数が短縮したため
- 工程計画が組みやすかったため
- 予定工程どおりに進捗したため
- 施工性が向上したため
- 仮設が減少したため
- 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

**劣っていた点**

- 施工日数が延長したため
- 工程計画が組みづかったため
- 予定工程どおりに進捗しなかったため
- 施工性が悪いため
- 仮設が増加したため
- 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

**品質・出来形**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
○1	○2	○3	○4	○5	

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 品質が向上したため
- 出来形・精度が向上したため
- 耐久性が向上する構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が減少したため
- 品質・出来形の管理精度が減少したため

**劣っていた点**

- 品質が低下したため
- 出来形・精度が低下したため
- 耐久性が劣る構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が増加したため
- 品質・出来形の管理精度が増加したため

**安全性**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・脱字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 地震・転落事故の危険性が減少したため
- 豪雨災害の危険性が減少したため
- 円形・落下物災害の危険性が減少したため
- 作業環境(音がり・騒音・振動)が向上したため
- 危険物の取扱いが減少したため

**劣っていた点**

- 地震・転落事故の危険性が増加したため
- 豪雨災害の危険性が増加したため
- 円形・落下物災害の危険性が増加したため
- 作業環境(音がり・騒音・振動)が悪化したため
- 危険物の取扱いが増加したため

**施工性**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・脱字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 現場での施工が減少したため
- 仮設工が減少したため
- 作業員の作業が容易になったため
- 熟練者に依存した作業が減少したため
- 施工の機械化が向上したため
- 施工時の制約条件が減少したため

**劣っていた点**

- 現場での施工が増加したため
- 仮設工が増加したため
- 作業員の作業が増えたため
- 熟練者に依存した作業が増加したため
- 施工の機械化が低下したため
- 施工時の制約条件が増加したため

**環境**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・脱字チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため
- 騒音・振動・粉塵等作業環境が改善したため
- 周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため
- 産業廃棄物の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため)
- 省エネルギー・省資源化が向上したため

**劣っていた点**

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため
- 騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため
- 周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため
- 産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため)
- 省エネルギー・省資源化が低下したため

上記項目の他に評価事項がある場合は本項目にて評価を行って下さい。優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。

**その他**

タイトル 全角20文字以内

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・脱字チェックの結果をここに表示します



その他

タイトル 全角20文字以内

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	

\* 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

総合的所見

NETIS掲載情報の「期待される効果」に対して、活用した結果はどうか

受けていた所 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

受けていた所 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

留意する所 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか

適切であった  適切でなかった

適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したためよいか、従来技術名を記入して下さい 全角127文字以内

今後、当該技術を活用できる工事の機会に活用しますか

今後も是非活用したい  活用を検討したい  場合によっては活用することもある  技術の改良を強く望む

理由 全角127文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい 全角1000文字以内

誤字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

誤字・誤字チェックの結果をここに表示します

# 活用効果調査表（施工者用）

登録番号: TH-200004 | 新技術名称: 一般車両搭載型トンネル点検システム  
 比較する従来技術: 手書きスケッチとデジタル写真を使用した点検報告作成  
 組織機関名: 国土地方整備局 | 部署・事業所名: 佐賀部  
 工事名: 活用工事 | 活用等の別: [ ]

登録年度: 2023年度 | 活用年度: 2023年度 | 活用年度: 2023年度

## 記入要領

- 全ての調査項目について調査を行って下さい。  
 ただし、記入者が評価に馴染みがない項目は「当該技術に馴染まない項目である」にチェックして下さい。  
 その場合は、当該調査項目の評価は必要ありません。また、コメント欄にその理由を必ず記入して下さい。
  - 調査項目毎に評価点をチェックして下さい（チェックの目安は下表の通り）。
- | 大幅に劣る | 劣る | 同等 | 優れる | 大幅に優れる |
|-------|----|----|-----|--------|
| 1     | 2  | 3  | 4   | 5      |
- 【ポイント】**  
 当該技術が、従来技術に比べて「優れる」か「同等」か「劣る」かを判断して下さい。その程度に応じて、どの程度かというものを、その程度がどの程度かという程度でなく、チェックしやすくなります。
- 調査項目の追加が必要な場合はその他（自由設定）欄に記入して下さい。
  - 調査項目毎に「優れていた点」「劣っていた点」をチェックして下さい（複数チェックすることも可能です）。  
 チェックを入れた場合はその理由をコメント欄に記入して下さい。また、チェックを入らなかった場合についても、その理由をコメント欄に記入して下さい。
  - コメント欄には、**効果調査の理由を必ず記入して下さい**。  
 また、当該技術の活用及び活用検討する上での**留意事項等**を記入して下さい。  
 記入内容は、効果調査の理由や評価の観点でチェックした内容と必ず整合を図って下さい。  
 必要に応じて丁寧なコメントをお願いします。

会社名(所属): [ ]  
 記入者氏名: [ ]  
 連絡先 (TEL): [ ]



**経済性**

従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる
○1 ○2	○3	○4 ○5

● 当該技術に馴染まない項目である

コメント: 全角1000文字以内

優れていた点

- 機材運搬・製品運搬・補助材料費が減少したため
- 作業人員が減少したため
- 仮設費が減少したため
- 施工日数が短縮したため
- 施工費が想定数値より少なかったため
- 維持管理費の減少が見込まれるため

劣っていた点

- 機材運搬・製品運搬・補助材料費が増加したため
- 作業人員が増加したため
- 仮設費が増加したため
- 施工日数が延長したため
- 施工費が想定数値より多くなったため
- 維持管理費の増加が見込まれるため

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**工程**

従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる
○1 ○2	○3	○4 ○5

● 当該技術に馴染まない項目である

コメント: 全角1000文字以内

優れていた点

- 施工日数が短縮したため
- 工程計画が組みやすかったため
- 予定工程どおりに進捗したため
- 施工費が向上したため
- 仮設が減少したため
- 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点

- 施工日数が延長したため
- 工程計画が組みづかったため
- 予定工程どおりに進捗しなかったため
- 施工費が悪化したため
- 仮設が増加したため
- 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**品質・出来形**

従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる
○1 ○2	○3	○4 ○5

● 当該技術に馴染まない項目である

コメント: 全角1000文字以内

優れていた点

- 品質が向上したため
- 出来形・精度が向上したため
- 耐久性が向上する構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が減少したため
- 品質・出来形の管理精度が減少したため

劣っていた点

- 品質が低下したため
- 出来形・精度が低下したため
- 耐久性が悪くなる構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が増加したため
- 品質・出来形の管理精度が増加したため

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**安全性**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

試学チェック 凡例: [チェック対象文字](#), [修正候補](#)

試学・試学チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 墜落・転倒事故の危険性が減少したため
- 塵埃災害の危険性が減少したため
- 飛来・落下物災害の危険性が減少したため
- 作業環境(音)が静音・採所作業等)が向上したため
- 危険物の取扱が減少したため

**劣っていた点**

- 墜落・転倒事故の危険性が増加したため
- 塵埃災害の危険性が増加したため
- 飛来・落下物災害の危険性が増加したため
- 作業環境(音)が静音・採所作業等)が悪化したため
- 危険物の取扱が増加したため

**施工性**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

試学チェック 凡例: [チェック対象文字](#), [修正候補](#)

試学・試学チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 現場での施工が減少したため
- 仮設工が減少したため
- 作業員の作業が容易になったため
- 熟練者に依存した作業が減少したため
- 施工の機械化が向上したため
- 施工時の制約条件が減少したため

**劣っていた点**

- 現場での施工が増加したため
- 仮設工が増加したため
- 作業員の作業が増えたため
- 熟練者に依存した作業が増加したため
- 施工の機械化が低下したため
- 施工時の制約条件が増加したため

**環境**

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

試学チェック 凡例: [チェック対象文字](#), [修正候補](#)

試学・試学チェックの結果をここに表示します

**優れていた点**

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため
- 騒音・振動・熱等作業環境が改善したため
- 周辺(自然・生態環境・景観)との調和が向上したため
- 塵埃(有害物質)の発生量が減少したため(リサイクル性が向上したため)
- 省エネルギー・省資源化が向上したため

**劣っていた点**

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため
- 騒音・振動・熱等作業環境が悪化したため
- 周辺(自然・生態環境・景観)との調和が悪化したため
- 塵埃(有害物質)の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため)
- 省エネルギー・省資源化が低下したため

上記項目の他に評価事項がある場合は本項目にて評価を行って下さい。優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。

**その他**

タイトル 全角200文字以内

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
○1	○2	○3	○4	○5

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

試学チェック 凡例: [チェック対象文字](#), [修正候補](#)

試学・試学チェックの結果をここに表示します

その他

タイトル 全角20文字以内

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

※当該技術に該当しない項目である

コメント 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

総合的所見

NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか

変れていた所 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

劣っていた所 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

改善する所 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか

適切であった  適切でなかった

適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したりよいか、従来技術を記入して下さい 全角127文字以内

今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか

今後も是特活用したい  活用を検討したい  場合によっては活用することもある  技術の改良を強く望む

理由 全角127文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい 全角1000文字以内

読字チェック 凡例: [チェック対象文字](#) [修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

施工状況等の写真 ※写真ファイルには、サイズ300×200以内のGIF形式またはJPEG形式の高画質ファイルを設定してください。

写真1

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または

[ファイルを選択](#) 選択されていません

登録済み写真名:

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

写真2

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または

[ファイルを選択](#) 選択されていません

登録済み写真名:

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

写真3

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または

[ファイルを選択](#) 選択されていません

登録済み写真名:

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

**申請書類**  
**公共工事等における新技術活用スキーム**  
**試行申請書**

令和 年 月 日

国土交通省  
 \_\_\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長  
 殿

会社名

法人印

代表者氏名

公印

所在地

電話

\_\_\_\_地方整備局において NETIS 登録済みの新技術について、以下の内容に同意の上、下記のとおり申請します。

**【NETIS における位置付け】**

新技術の活用は、現場毎の条件の適合性等による判断に応じて設計・工事担当部署がそれぞれ行うものであり、評価結果及び申請情報に基づき当該技術の活用の実施が保証されるといった性格のものではありません。

**【活用における費用負担について】**

活用に当たり標準積算額を超える費用が生じた場合は、試行調査にかかる費用として負担いたします。

**【試行調査・活用効果調査における費用負担について】**

試行調査および活用効果調査については、調査にかかる費用を負担いたします。

記

①新技術名称

②NETIS登録番号

③申請会社等

郵便番号

住所

会社名

部署

実務担当者

電話番号

FAX

E-Mail アドレス

## 公共工事等における新技術活用スキーム 試行希望調書

技術名称	新技術名称を記入						
会社名	会社名を記入						
記入者氏名	(通常、実務担当者とする)	記入年月日	平成	18	年	月	日

### 1. 試行を希望する工事の内容、条件および範囲について伺います。

(1) 主たる評価項目	様式2などに記載して頂いている技術の有用性のうち、試行において特に評価項目としたい内容について記入
(2) 直轄事業への適用分野 <small>(選択はいくつでも) [右記チェックボックスにより選択]</small>	<input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> ダム <input type="checkbox"/> 砂防 <input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 港湾 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> その他 上記で”その他”にチェックされた場合は、該当する「分野」を記入
(3) 工種・工事の内容	様式2に記載された”分類1”で工事内容が判断出来る場合は”分類1”を記入 判断が困難な(希望を反映出来ない)場合は、具体的な”工事内容”を記入
(4) 施工現場の条件	申請技術の適用範囲、有効性、評価項目などを考慮し、その条件を記入 ただし、条件の設定に際しては、様式-2の記載内容(適用条件等)と整合を図ること
(5) 試行規模 の範囲	上限値 貴社の費用負担、技術の施工能力、国交省発注における常識的な施工規模、などから勘案した施工数量の上限値
	下限値 試行調査において評価を行うのに妥当なデータを取得できる規模、コスト等を考慮した規模などから勘案した施工数量の下限値
(6) 対応可能地域(国交省管轄) <small>(選択はいくつでも) [右記チェックボックスにより選択]</small>	<input type="checkbox"/> 北海道開発局 <input type="checkbox"/> 東北地整 <input type="checkbox"/> 関東地整 <input type="checkbox"/> 北陸地整 <input type="checkbox"/> 中部地整 <input type="checkbox"/> 近畿地整 <input type="checkbox"/> 中国地整 <input type="checkbox"/> 四国地整 <input type="checkbox"/> 九州地整 <input type="checkbox"/> 沖縄総合事務局 その他(上記に該当しない範囲設定や、選択地域の内に対応出来ない場所)
(7) その他の条件	上記以外で試行に際しての特筆すべき条件を記入

### 2. 上記1. の工事において予想される不具合とその対応について伺います。(予想される不具合を全て記載)

(1) 工事中において予想される不具合とその対応	
① 予想される不具合	申請技術の適用期間中(施工中・調査中・試験中)において発生が考えられる不具合を記入
② 代替手段について	①の不具合により申請技術での施工が困難となった場合、申請技術以外での代替手段を記入
③ やり直しに要する時間	②の代替手段を実施するにあたっての、おおよその時間、日数を記入
④ 社会的影響など	上記の不具合により考えられる影響などを記入
(2) 工事完了後に予想される不具合とその対応	
① 予想される不具合	申請技術の適用期間後(施工後・調査後・試験後)において発生が考えられる不具合を記入
② 代替手段について	①の不具合に対処するために、申請技術以外で考えられる代替手段を記入
③ やり直しに要する時間	②の代替手段を実施するにあたっての、おおよその時間、日数を記入
④ 社会的影響など	上記の不具合により考えられる影響などを記入

3. 上記1(5)試行規模の範囲において、申請技術と従来技術による分割施工の可否について伺います。	
(1)試行しようとする申請技術と従来技術等とは分割しての施工が可能か [下記ラジオボタンにより選択]	<input checked="" type="radio"/> 不可・困難・・・下記(2)にその理由を記入 <input type="radio"/> 可能・・・下記(2)に分割施工時の条件を記入
(2)分割して施工する場合の条件等(または、分割施工出来ない理由)	分割することによる施工条件や追加して施工しなければならない作業などについて記入
4. 申請技術を試行する際に貴社の費用負担の考え方について伺います。	
(1)試行工事における申請者の費用負担(官積額を超える部分)の上限額	具体的な金額または費用負担の考え方について記入
(2)試行調査における申請者の費用負担(申請者で準備する調査機材及び人員調達など)の上限額	(1)に含まれている場合はその旨を、含まれない場合は(1)同様に記入
(3)申請技術に伴い不具合が発生した場合、手直し等に要する費用確保の考え方	(1)に含まれている場合はその旨を、含まれない場合はその考え方を記入
5. その他	
(1)本試行および特許・実用新案の内容について共同研究開発者からの同意。その他、係争に関わる事項について伺います。	共同研究開発者が申請技術を本調書の記載内容のとおり、試行を希望することについて同意済みである旨を記入 類似技術等の開発者などとの間に係争中または係争が予測される場合は内容を記入
(2)その他	その他、試行をするうえで特筆すべき事項について記入

NETIS 新技術情報提供システム  
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術  
の検索

登録申請書作成  
活用結果調査表作成

テーマ設定型  
の比較表

マッチング

維持管理情報  
ページ

資料集・運用  
支援技術ページ

マニュアル  
/FAQ

検索を閉じる
一時保存
印刷・プレビュー
登録

※120分間でタイムアウトします。作成の途中、一時保存を行ってください。一時保存は画面右上メニュー（一時保存）から行えます。

登録番号  ▼

新技術名称

比較する従来技術

組織機関名

部署・事務所名

工事名

活用等の型

新技術活用促進・実用化調査
活用結果調査表（完成前）
活用結果調査表（施工後）

計画書作成段階においては、で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）については記載の必要はありません。

作成日

受注者名

契約額(円)

工事期間  ~

新技術施工期間  ~

施工場所

**施工概要** 内容 全角1000文字以内

ご利用に合わせ  
します！

+

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

対象数量 全角127文字以内

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

新技術使用箇所 全角127文字以内

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

施工（活用）結果資料 ※活用結果データを添付してください。

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または

[ファイルを選択]

 選択されていません

※ファイルは20MBまでのものとしてください。

**現場施工条件** 全角1000文字以内

●現場条件	●周辺状況（病院、学校、教場の有無等）	●自然環境（騒音、振動、水質等）

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

**障害** 施工上で重大な障害や問題がございましたか。

○無 ○有 チェックを完了

障害の内容 全角127文字以内

読字チェック 凡例: チェック対象文字 修正候補

読字・読字チェックの結果をここに表示します

作業環境  陸上作業  水上作業  地下作業  水中作業  基別作業 チェックを完了

活用理由 ※チェックボックスにチェックがない場合は、入力されたコメントは紐付項目に反映されません。

※チェックボックスにチェックがある場合は、コメント欄に入力してください。

<input type="checkbox"/> 経済性	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 工期	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 品質・出来形	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 安全性	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 施工性	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 環境	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="text"/>

<p>新技術の検索</p> <p>→検索情報</p> <p>→詳細情報</p>	<p>テーマ設定型の比較表</p> <p>マッチング</p> <p>維持管理技術の検索</p> <p>資料集・運用支援技術の検索</p> <p>マニュアル/FAQ</p>	<p>プライムサービス</p> <p>著作権について</p> <p>お問い合わせ</p>	
---	---	--	--

Copyright 2021, New Technology Information System.All Rights Reserved.



## 具体的評価方法

### 試行実証評価

#### 1. 試行実証評価の手順

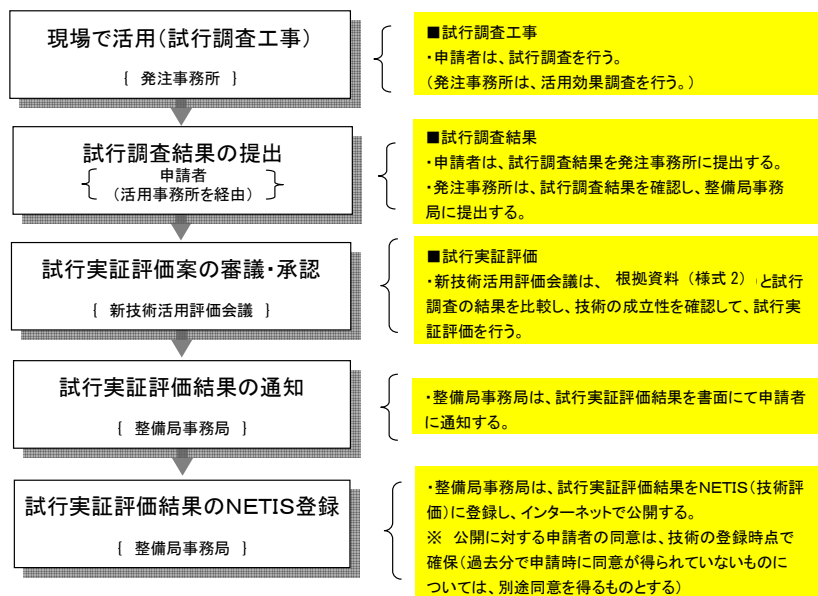


図6-1 試行実証評価のフロー

#### 2. 試行実証評価の実施時期

現場で試行調査が行われ、試行調査結果が提出された段階で速やかに実施

#### 3. 評価基準

表6-1 試行実証評価の評価基準

評価区分	評価基準
○	根拠資料（様式2）の「実証により確認した数値等」に比較して、同等またはそれ以上。
△	根拠資料（様式2）の「実証により確認した数値等」に達しないが、「現行基準値等」を満足する。
×	根拠資料（様式2）の「現行基準値等」（「現行基準値等」が設定されていない評価項目については、「実証により確認した数値等」）に達しない。
—	根拠資料（様式2）の「実証により確認した数値等」を確認できない。

注) 「現行基準値等」が設定されていない評価項目については、評価区分の「△」を適用しない。

注) 「×」が1つでもある場合には、技術として成立していない。

注) 「×」がない場合における「—」の取扱いについては、新技術活用評価会議による。

# 活用効果評価

## 1. 活用効果評価の手順



図6-2 活用効果評価の内容と流れ

## 2. 活用効果評価の実施時期

試行申請型、フィールド提供型及びテーマ設定型(技術公募)の場合は、以下のいずれかに該当する場合に、速やかに実施する。

<1回目>

・試行調査及び活用効果調査を実施した場合。

<2回目以降>

・活用効果調査の件数が累積で5件以上ある場合。

(3回目以降は発注者指定型及び施工者希望型の<2回目以降>と同様とする。)

発注者指定型及び施工者希望型の場合は、以下のいずれかに該当する場合に、実施する。

<1回目>

・活用効果調査の件数が5件以上ある場合。

<2回目以降>

・活用効果評価の結果、継続調査等の対象となった新技術については、当該技術の前回の活用効果評価が行われた日から起算して1年以上経過し、新たな活用効果調査結果が10件以上蓄積した場合。

・追跡調査の活用効果評価は、前回の評価時に評価会議が定めた実施時期、必要件数に達した場合。

・評価会議において従来技術の変更が必要と判断され、その後新たな活用効果調査結果が10件以上蓄積した場合。

表6-2 活用効果評価の実施時期

活用の型	活用効果評価の回数	活用効果調査の件数	活用効果評価の実施時期
試行申請型 フィールド提供型	1回目の活用効果評価	1件以上	試行調査後、速やかに実施
テーマ設定型 (技術公募)	2回目の活用効果評価	5件以上 (累積)	速やかに実施

※3回目以降は発注者指定型及び施工者希望型の<2回目以降>と同様とする。

活用の型	活用効果評価の回数	活用効果調査の件数	活用効果評価の実施時期
発注者指定型 施工者希望型	1回目の活用効果評価	5件以上	速やかに実施
	2回目以降の活用効果評価	10件以上 (前回の活用効果評価から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用効果評価の結果、継続調査等の対象となった新技術については、当該技術の前回の活用効果評価が行われた日から起算して1年以上経過し、新たな活用効果調査結果が10件以上蓄積した場合速やかに実施</li> <li>・追跡調査の活用効果評価は、前回の評価時に評価会議が定めた実施時期、必要件数に達した場合速やかに実施</li> <li>・評価会議において従来技術の変更が必要と判断され、その後新たな活用効果調査結果が10件以上蓄積した場合速やかに実施</li> </ul>

※第三者機関の評価(技術審査証明書等)により成立性が確認されている場合は活用効果調査の件数が5件以上あるものと同等として扱い、活用効果調査の件数が1件以上で、NETIS申請者からの申請がある場合は、活用効果評価を実施できるものとする。

## 公共工事等における新技術活用スキーム

## 事前審査結果・事後評価結果の公表への異議申立書

令和 年 月 日

国土交通省

\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長

殿

会 社 名

法人印

代表者氏名

公 印

所 在 地

電 話

事前審査結果・事後評価結果の公表について、実施要領に基づき、次のとおり異議申し立てをします。

登録技術名及び NETIS 登録番号	
事前審査結果・事後 評価結果の通知 年月日	
異議申立の内容	
異議申立の理由	
備 考	

〔作成日 H18.7.14 〕

公共工事等における新技術活用 スキーム  
事後評価結果に関する不服申請書

令和 年 月 日

国土交通省

\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長

殿

ふりがな  
会社名

法人印

ふりがな  
代表者氏名

公印

所在地

電話

事前審査結果・事後評価結果について、実施要領に基づき、次のとおり不服申請をします。

登録技術名及び NETIS 登録番号	
事前審査結果 ・事後評価結果への 要求書等に対する 回答通知年月日	
不服申請の内容	
不服申請の理由	
備考	

〔作成日 H18.7.14〕

公共工事等における新技術活用スキーム  
推奨技術等の取り扱いに関する同意書

令和 年 月 日

新技術活用スキーム検討会議  
事務局 御中

ふりがな  
会社名  
ふりがな  
代表者氏名  
所在地  
電話

法人印

公印

推奨技術・準推奨技術に選定された下記技術の取り扱いについて、本様式の裏面に記載する「1. 推奨技術等の取り扱いについて」、及び「2. 免責事項等」に同意します。

記

1. 技術名称：
2. NETIS登録番号：

## 【裏面】

### 1. 推奨技術等の取り扱いについて

新技術活用スキーム検討会議（国土交通省）（以下、スキーム検討会議（本省）という）は、画期的な新技術に対する適正な評価を行い、公共工事等に関する技術の水準を一層高めるため、画期的な新技術を対象に「推奨技術」等の選定を行い、当該新技術の普及啓発や活用促進等を行うものとする。

#### （1）対象となる技術

選考対象技術のうち、選考要件に照らして推奨すべき技術としてシステム検討会議（本省）が選定するもの。選考の対象となる技術、選考要件は以下のとおり。

#### ＜選考対象技術＞

NETIS 登録技術のうち活用効果評価が実施された技術であって、選考要件のいずれかに合致する画期的な技術として以下の者の推薦のある技術

- ① 評価会議（整備局等）が、「活用促進技術」等のうち、主として現場における改善効果、将来性等の観点から推薦する技術
- ② 関係研究機関又は第三者機関等が、主として技術の画期性等の観点から推薦する技術
- ③ その他スキーム検討会議（本省）の委員が推薦する技術

#### ＜選考要件＞

- ① 当該技術の活用により、従来に比べ飛躍的な改善効果が発揮される
- ② 従来にはない先駆的な取り組みであり、将来、公共工事等における幅広い活用が期待される
- ③ 技術内容が画期的であり、将来的に飛躍的な活用効果の改善が期待できる（現状では、当該技術の適用範囲において活用の効果が従来技術と同程度以上であることを最低要件とする。）
- ④ 技術内容が独創的である等、国際的に先端を行く技術又は先進諸国への技術展開が期待される技術である
- ⑤ 技術内容の応用性、適用性、普遍性が高く、国内の諸課題の解決への貢献に加えて、国際的な課題の解決など国際貢献に大きく資する
- ⑥ 一般化・標準化に向けて活用を促すべき技術である

#### （2）実施形態

スキーム検討会議（本省）は、申請情報、評価情報等に基づき、推奨すべき技術がある場合は、当該技術を「〇〇年度 推奨技術（新技術活用スキーム検討会議（国土交通省））」又は「〇〇年度 準推奨技術（新技術活用スキーム検討会議（国土交通省））」として選定する。

スキーム検討会議（本省）は、推奨技術等の選考を年1回実施する（該当なしも可）。

「推奨技術」、「準推奨技術」となった技術については、活用の実績等についてフォローアップを行う。

### 2. 免責事項等（案）

- ・「推奨技術」「準推奨技術」は、国土交通省の新技術活用スキーム検討会議において、画期的な新技術に対する評価を行うことにより、公共工

事等に関する技術の水準を高め、当該新技術の普及啓発や活用促進等を行うことを目的に選定するものであり、当該技術に関する証明、認証その他なんら技術の裏づけを行うものではないこと。

- ・公共事業等において、発注者等が「推奨技術」「準推奨技術」に選定された技術を採用するにあたっては、採用する者が現場毎の条件においての当該技術の適合性等を十分に検討して採用するものであり、「推奨技術」「準推奨技術」であることにより、当該技術の活用の実施が保証されるといった性格のものでないこと。
- ・直轄以外で「推奨技術」「準推奨技術」となった技術を採用した工事等において、事故、不具合等が生じた場合にあっては、新技術活用スキーム検討会議ならびに国土交通省は何らの責任を有しないこと。
- ・「推奨技術」「準推奨技術」となった技術が、次のいずれかに該当する場合、「公共工事等における新技術活用スキーム」実施要領 3.5.2 に基づき、「推奨技術」「準推奨技術」の選定を過去に遡り取り消されること。

- ① 当該技術が、実施要領に定める「3.2.8 NETIS 掲載情報の提供の中止等」に該当すると整備局等が確認したとき
- ② NETIS 申請者が提出された同意書等に違反したとき
- ③ その他、スキーム検討会議（本省）が「推奨技術」「準推奨技術」として相応しくないと判断したとき

この場合、スキーム検討会議（本省）事務局は、選定が取り消された旨を当該技術の NETIS 申請者に通知するものとする。

NETIS 申請者は、通知後、「〇〇年度 推奨技術（新技術活用スキーム検討会議（国土交通省））」又は「〇〇年度 準推奨技術（新技術活用スキーム検討会議（国土交通省））」という名称を使用してはならず、これに違反して生じた問題については、NETIS 申請者がすべての責を負うものとする。

また、スキーム検討会議（本省）事務局は、NETIS（評価情報）に登録されている推奨技術としての記載を削除するものとする。

上記の①、②、③について疑義があるとき又は当該技術に関して法律上の係争が生じたときは、スキーム検討会議（本省）又はスキーム検討会議（本省）事務局は、NETIS 申請者に対して事実関係等について確認できるものとし、スキーム検討会議（本省）は、その疑義又は係争が解消するまでの間、NETIS 申請者による「推奨技術」「準推奨技術」の名称の使用の中止、NETIS（評価情報）に登録されている推奨技術としての記載の中止等の措置を講じるものとする。

ただし、NETIS 申請者から疑義の解消の根拠となる資料や係争が終結し問題が解消した根拠となる資料が提出され、スキーム検討会議（本省）が認めた場合は、上記の措置を解除するものとする。

公共工事等における新技術活用スキーム  
技術比較表の変更・更新・追加・削除申請書

令和 年 月 日

国土交通省  
\_\_\_\_地方整備局長 / 北海道開発局長  
殿

ふりがな  
会社名

法人印

ふりがな  
代表者氏名

公印

所在地

電話

技術比較表の変更・更新・追加・削除について、下記のとおり申請します。

記

1. 技術名称 :

(商標名) :

NETIS 登録番号 :

※申請時点で NETIS の掲載期限が終了している場合は、掲載時の NETIS 登録番号を記載して下さい。

2. 技術比較表の技術募集テーマ名 :

3. 変更・更新・追加・削除理由及び内容 :

※実施要領 3.3.3.7 テーマ設定型（技術公募）（4）手続き6）技術比較表の変更・更新に規定する該当項目（イ、ロ、ニ）、変更・更新・追加・削除の理由及び内容を記載して下さい。

4. 担当窓口：氏名

会社名

所属

所在地

電話

FAX